

## 1. 赤ちゃんの発育・発達の日安(0か月～1歳6か月)

0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	1歳1か月	1歳2か月	1歳3か月	1歳4か月	1歳5か月	1歳6か月	
			首がすわる*1			腰がすわる*1		つかまり立ちをする						支えなしにひとりで立つ					
突然の音に反応 手足をのぼす			うつぶせて頭を上げる				寝返りをする			はいはいをする				伝い歩きをする					
			目で物を追う				物に手をのぼす			両手で積み木を打ち合わせる									
		あやすと 笑う																	

※成長の仕方には、個人差があります。あくまで目安としてみてください。

**※1 首・腰がすわる**  
首がすわるとは、赤ちゃんの後頭部を支えずにたて抱きにしても、首がグラグラしない状態です。腰がすわるとは、赤ちゃんが背筋をまっすぐに伸ばして、手で支えなくても座っていられる状態です。

**※2 喃語(なんご)**  
まず「あっあっ」「えっえっ」など、母音を使用する「クーイング」が始まり、その後、多音節からなる「タダダ」「パパー」などの言葉が頻繁に繰り返されるようになってくると、これを「喃語(なんご)」と呼び、言葉の始まりと考えます。

**※3 人見知り**  
おじいちゃん、おばあちゃんなどの親戚に会っても大泣きしたりします。個人差が大きいですが、これも成長過程のひとつです。家族と他の人の違いがわかるようになった「成長のあかし」なのです。

**※4 後追い**  
赤ちゃんにとってお母さんがかけがえのない存在だと認識できるようになると、赤ちゃんはお母さんがいなくなることに對して不安を感じるようになる時期があります。この時期に赤ちゃんから離れるときは「トイレにいってくるよ。」などの声かけをしてあげれば赤ちゃんも安心します。

**※5 卒乳**  
離乳食の回数が3回になると栄養面での授乳は必要性が少なくなりますので卒乳を考える時期になります。時期がきたからすぐに卒乳しなければと思いがちですが、無理せず子どもの成長過程に合わせてゆっくりでもいいのではという考えもあります。

乳児身体発育曲線：標準的な体重と身長を表したのですが、乳児の発育は個人差が大きいため、一応の目安としてみてください。

